1
January
2019
No.238

あなたに届けます JAから

なのはな

IBUSUKI

JA Magazine Nanohana

新年あけましておめでとう!!

自己改革実践中!

新しい夢どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

JAいぶすき

編集発行：いぶすき農業協同組合
〒891-0516 鹿児島県指宿市山川成川3830
TEL.0993-35-3411
http://ja-ibusuki.or.jp

謹んで新年のお慶びを申し上げます

代表理事組合長
福吉　秀一

管理・経済担当常務
永野　照雄

信用担当常務
中川路　慎

常勤監事
木佐貫　幸伸

新年明けましておめでとうございます。

組合員・地域住民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、ＪＡ事業につきましては、平素より組合員各位から格段のご理解とご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

昨年の第25回通常総代会ならびに理事会において役員が一新し、関係機関の皆様にご指導ご鞭撻を賜りながら、ＪＡが地域にどのような役割を果たすべきかを考え、運営に努めております。

さて、昨年を振り返りますと、日本漢字能力検定協会が２０１８年の漢字を「災」と示したように、北海道の地震や西日本豪雨など自然災害の多い年であり、仮想通貨流出やスポーツ界のパワハラなどの人への災いが多い年でありました。

ＪＡ管内にも台風24号・25号が襲来しましたが、幸いにも大きな被害が無かったことについては、記憶に新しいところでございます。

一方で、ＪＡグループ全体においては、政府から２０１４年5月の規制改革会議で5年間の「農協改革推進期間」を設けられ、２０１６年4月には改正農協法が施行されるなど、様々な手段で農協改革を迫られております。

農協改革の狙いはＪＡ事業が守っている利益の開放にあります。ＪＡ県中央会や連合会を解体する事でＪＡ組織を弱体化し、公認会計士や会計監査法人の導入による費用圧力で経営を悪化させ、准組合員の利用規制と信用事業譲渡で企業と競争させる事で、民間企業はＪＡグループの持つ利益を吸収する事が出来ます。

このような状況の中、政府が行う認定農業者へのアンケートやＪＡの利用状況の調査で自己改革が不十分だと判断されれば、信用・共済事業の縮小や准組合員の利用規制が決定・検討されかねません。

組合員・農業者の安定した暮らしを守る為にも、ＪＡグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を三本柱とした創造的自己改革を行い、総力をもって政府の農協改革に断固として対抗いたします。

予約購買割引や資材購入キャンペーン、営農指導サポート、制度資金の取扱などで所得増大・生産拡大に貢献し、職員のイベント参加や食農教育、青年部・女性部活動の盛り上げで地域を活性化することで、私どもＪＡいぶすきが少しでも地域貢献出来るよう努めてまいります。

更に、２０１７年12月から引き続き取り組んでいる組合員・認定農業者へ向けたアンケートなど、更なる対話活動で自己改革の進捗を伝え、担い手をはじめとした組合員・農業従事者にＪＡ事業をご理解賜り、農協改革の阻止にご協力を頂きたく思います。

昨年12月30日のＴＰＰ１１発効でほぼ全ての農産物に対して関税が撤廃され、また慢性的な人手不足にも悩まされるなど農業・農協の環境はさらに厳しくなると予測されます。その中において、ＪＡいぶすきは第10次中期3か年の策定で経営計画の骨子を定め、協同組合と総合事業のメリットを生かすことで、組合員・農業者の皆様へ最大の奉仕を継続して参ります。ＪＡいぶすきの経営理念の下に、役職員一丸となって組合員・地域住民の皆様に愛されるＪＡを目指し、事業の遂行と健全経営に取り組んで参る所存でございますので、皆様の更なるお引き立てを宜しくお願い申し上げます。

終わりに、組合員・地域住民の皆様方にご健勝とご多幸をお祈り申し上げ念頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い致します

【理事】
上篭　慶利　　髙﨑　知一
水迫　智弘　　上川床義一
岡元　和人　　大薗　義人
西元　弘行　　本田　義昭
堀之内修文　　吉﨑　久男
田原　良二　　伊瀬知省一
永吉ゆりか　　末吉　清子

【監事】
横峯　明人　　石坂　照義
桃木　重隆　　上野　虎徳
栫山　俊孝　　上坪　孝志

ＪＡが地域の祭りに参加！

　ＪＡいぶすきが、地域の祭りを盛り上げました。11月23日は鹿児島市喜入町の第33回喜入わいわいまつりに参加。会場で、農産物を無料で貰える抽選会や喜入産鹿児島黒牛の試食を行い、ＪＡ女性部がうどん・そばコーナーを設け、販売しました。

　12月１日と２日のいぶすき産業まつりでは指宿産黒牛の試食販売を行い、観葉青年部が観葉植物を販売。指宿地区青年部も農協青年部コーナーを設け農産物の販売をしたほか、指宿地区女性部はうどんを出店し、ステージで演芸も披露。多くのお客さんが訪れました。

いぶすき産業まつり

喜入わいわい祭り

白熱した試合に！子どもたちが元気にプレー

ＪＡは11月25日、開聞運動場で第13回JA-YOUTH旗争奪ソフトボール大会を開きました。ＪＡ管内の各地区から10チーム約150人のソフトボール少年団が参加し、予選リーグと決勝トーナメントで勝敗を競いました。

なお、結果は以下の通りです。

優勝	徳光ソフトボール少年団
２位	大成ソフトボール少年団
３位	山川ソフトボール少年団
	別府ソフトボール少年団

豆類出荷へ向け準備が進む

ＪＡ管内で、2018年産エンドウ類の出荷に向けて、11月19日に指宿市山川のＪＡ小川選果場で2018年度エンドウ類出荷説明会を、12月４日には指宿市山川のＪＡ大山集荷場でソラマメ出荷説明会を開きました。病害虫防除や今後の栽培管理、集出荷体制について説明をするなど、部会全体で確認し、本格的な出荷に備えて意識統一を図りました。

2018年産の豆類は、台風24号と25号の相次ぐ襲来で、約1700万円の被害が発生。ＪＡでは被害を受けた農家へ病気や塩害の対策、殺菌剤散布・潅水方法などを指導し、復旧を促してきました。

高校生と子ども達が豆腐づくりに挑戦！

ＪＡと県立山川高等学校は11月23日、同校でＪＡ・山川高校あぐりスクールを開きました。管内から参加した児童約25人は、同校生徒やＪＡ職員に教わりながら、簡単豆腐作りやおから料理作りを体験しました。指宿市立大成小学校４年生の水流輝美さんは「甘みがあって、家で食べる豆腐より美味しかった。」と話しました。

管内児童と生徒がコンクールで受賞

受賞した石場さん(左から１人目)、坂元さん(２人目)庄さん(３人目)笹山さん

ＪＡ共済が12月１日に開いた書道・交通安全ポスターコンクール表彰式で、ＪＡいぶすき管内の児童、生徒が表彰されました。書道の部で受賞した坂元里菜さんは「小学生から書道をして今回の受賞はとてもうれしい。高校に進学しても書道を続けていきたい。」と喜びを笑顔で話しました。ポスターの部で受賞した石場寿花さんは「受賞したことが信じられない。指導してもらった先生やお父さん、お母さんに感謝したい。」と話ました。

表彰内容は以下の通りです。

【書道の部】
坂元里菜さん（指宿市立山川中学校３年）
・県知事賞、ＪＡ共済連会長賞銀賞
庄瑛宇さん（北指宿中学校２年）
・金賞

【交通安全ポスターの部】
石場寿花さん（徳光小学校６年）
・ＫＫＢ鹿児島放送賞
・農林水産大臣賞（全国表彰）
笹山暖太さん（丹波小学校５年）
・ＫＹＴ鹿児島読売テレビ賞

表彰状を受け取る石場さん（左）

石場さんは、東京都のＪＡ共済ビルで２月に開かれる全国表彰式へ出席します。

茶業女性部が震災地域を訪問

南九州市茶業振興会女性部は11月30日から12月１日の２日間、熊本県上益城郡甲佐町を訪問しました。乙女仮設団地で茶を振る舞い、一煎パック・緑茶ドリップ・手作りコースターを贈呈しました。女性部会長の田原三知恵さんは「住民の方に被災当時や今現在の話を聞かせていただいた。私たちが丹精込めて作ったお茶を飲んで、少しでもほっとした気持ちになってほしい。」と話しました。

参加者と語らう女性部

ファーストサインで赤ちゃんと触れ合い

11月26日、指宿市中部支所２階でＪＡ共済アンパンマンこどもくらぶファーストサイン教室を開きました。８組が参加し、きいれ浜田クリニックの濵田歩美さんがファーストサイン（視覚言語）の効果について説明。参加した保護者は赤ちゃんとファーストサインを実践したり、茶話会でお互いの話をしたりしました。

県家の光大会で最優秀賞！

ＪＡ女性部は12月４日、一般社団法人家の光協会が開いた2018年度鹿児島県家の光大会に参加し、家の光記事活用体験発表で優秀賞を受賞しました。肝付要子さんが「家の光と仲間とともに」と題し、女性部活動やボランティアで活用した記事について紹介。自身の経験と家の光の関わりについて発表しました。肝付さんは、２月５日から７日までパシフィコ横浜で開催される第61回全国家の光大会に出場し、発表します。

優秀賞を受賞した
肝付要子さん（右）

豊作願い神社へ奉納　えい太くん奉納祈願

ＪＡいぶすきえい野菜部会さつまいも専門部は11月29日、南九州市頴娃町の釜蓋神社でサツマイモの「えい太くん（ベニハルカ）」の奉納祈願を行いました。県、同市、生産者、ＪＡ関係者らが、18年産の豊作と出荷の安定を願い、神社へ「えい太くん」を奉納しました。

同市えい地区はサツマイモが特産品で、同専門部もかごしまの農林水産物認証制度（Ｋ－ＧＡＰ）を13回連続で取得しています。

ＪＡは南九州市頴娃町地区で、2018年度共販栽培面積37ヘクタールの本格出荷を12月に控え、目標900トンと見込みます。

神社へ奉納するＪＡいぶすきえい野菜部会さつまいも専門部の尾曲宰部会長

優秀な枝肉が上場　枝肉共進会

ＪＡは11月20日、株式会社ＪＡ食肉かごしま南薩工場で第４回ＪＡ肉牛枝肉共進会を開きました。管内から52頭が上場。１席と２席を東川勝広さん、３席を株式会社高田畜産が受賞し、マーケットニーズ賞は有限会社上久保畜産が獲得しました。

表彰を受ける１席を受賞した東川勝広さんの後継者東川哲明さん（左）

上場した枝肉は、平均で重量507.1キロ、ロース芯面積68.5平方センチ、ばらの厚さ8.3センチ、皮下脂肪2.8センチ、脂肪交雑（ＢＭＳ）ナンバー8.8となりました。また、脂肪交雑の最高値12番が12頭上場し、高レベルの枝肉共進会となりました。

秋冬カボチャを並べ、品質を確認

ＪＡ山川地区は11月30日、ＪＡカボチャ選果場で秋冬カボチャの目揃え会を開きました。生産者、市、ＪＡ職員が集荷されたカボチャを観察し、生育状況を確認のうえ、病害虫対策や肥培管理などについて解説。参加者は今後の作業内容を確認しました。

中央経済課山川地区指導の汰木良平指導員は「生産者自身でも品質を確認し、良品の出荷に努めて欲しい。」と話しました。

講習会で今後の水田管理学ぶ

ＪＡは11月19日から21日にかけて、指宿市開聞地区管内の公民館など６カ所で早期水稲の栽培講習会を開きました。水田土壌の症状や肥料の種類、除草剤の効率的な使用法について説明。集まった生産者は熱心に耳を傾け、今後の栽培管理を学びました。

ＪＡ開聞地区では、米の生産量を調整する減反政策で同じ水田を２年ごとに転作していましたが、2018年の政策廃止で水田の転作が無くなります。飼料用米の栽培が増え、連作圃場が増えていくことから、水田に生える雑草の急激な増加を抑制するため、生産者に細かく指導を行いました。

JAいぶすき青年部が優秀賞受賞

ＪＡ青年部は11月22日、九州沖縄地区農協青年組織連絡協議会が開いた2018年度ＪＡ九州沖縄地区青年大会に参加し、組織活動実績発表コンクールの部で優秀賞を受賞しました。上川床義一ＪＡ青年部長が「青年部から出来る農協改革」と題し、ＪＡ青年部が働きかける事で出来る改革とは何かを発表。受賞に対し上川床部長は「各県代表に負けないよう頑張ってきた事が、良い経験になった。他県青年部員との交流で得た事を持ち帰り、最優秀賞を受賞出来るよう活動を盛り上げていきたい。」と話しました。

受賞トロフィーを持つ上川床部長（左）と表彰状を持つ福吉秀一代表理事組合長

女性部活動

11/15 山川地区 お母ちゃんの味継承料理教室

山川の小川地区で作られる、豆腐と卵を使った「こが焼き」と、とり飯を作りました。秋を意識して柿なますやジャンボインゲンなども添え、みんなで楽しく美味しく食べました。

11/23 喜入地区 喜入わいわまつり

喜入地区女性部でブースを設け、うどんを販売しました。

11/27 雑巾を贈呈

南さつま子どもの家から使い古したタオルを預かり、各地区女性部で雑巾に縫い直して贈呈しました。

12/1・2 指宿地区 いぶすき産業まつり

指宿地区女性部でうどんコーナーを出店しました。ステージでは演芸も披露。多くのお客さんが訪れました。

野菜部会で合同役員会

参加者にあいさつするＪＡいぶすき野菜部会協議会の西山茂会長

ＪＡいぶすき山川野菜部会は11月21日、指宿市山川でＪＡいぶすき山川野菜部会合同役員会を開きました。県や市、部会員など約60人が参加。各品目の役員が今後の栽培管理や計画などを協議し、全体の合同役員会で意見交換を行いました。

新鮮な農産物出荷へ向け協議 4市場で消費地会議

市場へ挨拶するＪＡいぶすき野菜部会協議会の西山茂会長

ＪＡは11月15日、東京・名古屋・大阪・福岡の４市場で秋冬作消費地会議を開きました。ＪＡが2017年度の実績と18年度の計画、生育状況や出荷動向について報告。それぞれの市場と今後の販売対策や重点実施事項について協議し、市場へ入荷される農産物の確認なども行いました。

名古屋青果株式会社との会議に参加したＪＡいぶすき野菜部会協議会西山茂会長は、「集荷や選果体制の強化を図り、市場に新鮮な農産物を卸せるよう努力していきたい。」と市場へ話しました。

出荷に向けて意識統一 グリーンボール目揃え

ＪＡ山川葉茎菜部会は11月９日、2018年度グリーンボール出荷目揃会を開きました。生産者や県、ＪＡ職員ら15人は、部会全体で出荷規格の確認や品種ごとの特徴などを確認。今年度の出荷へ向けて意識統一をしました。葉茎菜部会長の木村琢磨さんは「台風24号と25号の被害を受けたが、現在は回復している。今後も病害虫管理を徹底し、全国の市場においしいグリーンボールを届けていきたい。」と話しました。

茶業会議所が茶の枝を提供

下窪支部長から提供された茶の枝

提供品を前にする南九州市茶業振興会の皆さん

鹿児島県茶業会議所は11月14日、かごしま茶を継続的に販売する店舗として認定されたかごしま茶販売協力店11社58店舗に、季節の草花や茶の枝を発送しました。

発送した茶の枝は、南九州市茶業振興会頴娃支部の下窪純治支部長から提供して頂きました。

JAの組合員アンケートにご協力ください！

JAいぶすきでは、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」、「地域の活性化」へ向け、自己改革に取り組んでおります。しかし、政府はJA事業の分離や准組合員利用規制を検討しており、平成33年3月までの自己改革の実施状況等の調査で方針を定める事としています。

Q1.JAはどういう事業をしているの？

A1. JAは、皆さまの営農から暮らしまであらゆるサポートが出来るよう、貯金や共済をはじめ、営農指導、機材・資材販売、農畜産物販売などの他、高齢者福祉などの事業まで幅広く手がけています。

Q2. 総合事業は必要なの？

A2. JAの農業関連事業は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で、営農指導員の配置や農業施設投資を実現しています。総合事業を行う事で組合員の皆さまに便利で多彩なサービスを提供する事が出来ます。

だから総合事業は必要です。

Q3. JAに准組合員は必要なの？

A3. JAには、農業を営んでいなくても、出資する事で准組合員になれる制度があります。組合員が増える事で各事業の利用・収益も増えて、経営が安定します。結果、各事業へ支援できる資金が増加し、より良いサービスの提供や維持・向上に繋がります。

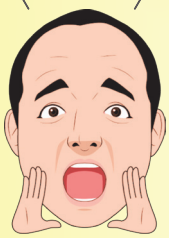
だから准組合員は必要です。

政府の規制改革に対応すべく、平成30年12月から大宗組合員へ向けアンケートを配布し、皆さまへお伺いいたします。皆さまのご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

JAいぶすき

職員を募集しています！

地元で就職したい！



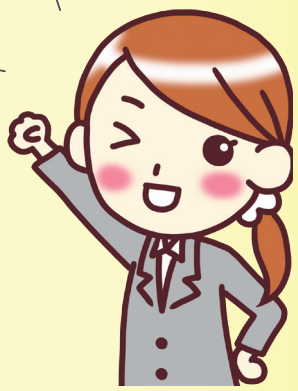
Uターン、Iターン、中途採用を募集中です！

試験日は

1月17日（木）

事務、営業など総合職で働けます！
農家さんや組合員さんへの技術指導を行う営農指導職も募集しています！

JAで一緒に働きましょう！



各種手当支給や賞与支給、
完全週休２日制など充実の福利厚生！

受付期間は　1月11日（金）まで！

２月以降も随時募集します！

お問い合わせは

JAいぶすき
TEL：0993−35−3411
〒891-0516　指宿市山川成川3830
人事教育課　まで

おくやみ（敬称略）

（平成30年11月1日～11月30日）

【喜入】

内木場　洋（76）
浜田　ユキノ（79）
松元　ミツヱ（94）

【山川】

岩崎　久美（81）
打越　義昭（92）
倉山　オワリ（95）
谷迫　ミサエ（101）
野崎　肇（87）
馬場　ミツエ（95）

【開聞】

大山　サチヱ（83）
長尾　秀邦（73）
西川　フヂヱ（89）
西山　白糸（96）
濵田　セツ子（89）
福留　忠雄（80）

【頴娃】

上赤　タツミ（91）
嶽　清秀（77）
西牟田　貢（88）

感動の人柄葬を
真心こめてお手伝いさせていただきます
お問い合せは・・・
ルミエール喜入
（099）343－5077
ルミエール開聞
（0993）32－4222
ルミエール指宿
（0993）24－5332
ルミエールえい
（0993）36－1234
ルミエール山川
（0993）34－0244

いぶすき短歌会

平成三十年十二月歌会
詠草（自由歌）

一　初曾孫の動画届きて見入るわれ
老いし血潮に生気湧きくる　片野田　健一

二　故郷の荒れし屋敷の晩秋に
父母の面影そこはかに立つ　片野田　道子

三　金柑はたわわに実り晩秋の
風に触れ合いしないて揺れる　川畑　信子

四　連れ立ちて銀杏・楓の曽木公園
秋色落ち葉の散り敷くを踏む　辰野　千鶴子

五　夫は逝き子ら巣立ちたり秋深し
巣に帰りゆく野鳥見送る　竹下　玲子

六　兄のため後顧守りし弟は
武士に散り逝きせごどん泣かす　高田　須美恵

七　地球儀に印すロケット発射場
種子島より夢は芽ぶくか　日高　禎子

八　峰々の紅葉まぶたに焼き付けて
新年迎うるパワー身に宿る　柚木崎イツ子

九　秋なのに白地の服着て遠出する
アメリカカエデは少し色づく　吉田　知佐子

十　あこがるる有終の美のもみじ旅
染めし満月を連れて帰りぬ　吉永　多美子

十一　山と海眼下に置きて住む孫に
呼ばれし新居の栄えあれかし　上西園ふじえ

理事会だより

平成30年11月29日、第11回理事会が開催され、次の通り協議、承認されました。

協議内容

・平成30年度上半期ディスクロージャー誌の開示について
・平成30年度上半期末監事監査回答書（案）について
・貸出金の貸出決定について
他

報告事項

○鹿児島市農業委員会委員候補者の推薦について
○平成30年度第2回随時監査の監査実施について
○JA自己改革に関する大宗アンケートについて
○JAいぶすき役職員大運動会の開催について　他

編集後記

2019年を迎えました。あけましておめでとうございます。この広報紙が少しでも多くの人の喜びにつながるよう、地道ながら努力していきたいと思います。本年も広報誌「なのはな」をどうぞよろしくお願いいたします。

表紙の写真

2019年の干支は亥です。亥年生まれの人はリーダーシップ性が強く、何事にも自我をしっかりと持って取り組む指導者タイプが特徴です。すべての行動に沈着である事と同時に熱心なので、ひたむきであることを意味します。一方で、ひたむきさが情緒に表れ、周囲との融和に欠けることにもなりかねません。冷静になる事を心掛けふたたびチャンスが来るのを待つと良いでしょう。

安心安全、暮らしを守る

食もクルマも

展示台数 500台

選り取りミドリ

JA 第37回 自動車大展示会

2019
2/8(金)9(土)10(日)

鹿児島市谷山港（臨海工業地帯1号用地） 主催：JA・JA鹿児島県経済連

成約記念

第11回 全国和牛能力共進会
和牛日本一
鹿児島黒牛進呈